



公益社団法人

日本語教育学会 チャレンジ支援委員会



キャリアパスフォーラム 第2弾 —海外の日本語教育現場（アジア編）— 開催報告

日時:2022年2月5日(土)14:00~16:00 Zoomによるオンライン開催

参加者:87名(参加者・登壇者・スタッフ)

協力機関:国際協力機構(JICA)青年海外協力隊事務局、国際交流基金アジアセンター、
新モンゴル小中高一貫学校、ハノイ日本語教育研究会

チャレンジ支援委員会の「キャリア系」事業では、将来日本語教育にかかわりたい方・日本語教育の新たな分野にチャレンジしたい方などにキャリア形成を考えていただくための催しの企画・運営を行っています。

この「キャリア系」の主な企画イベントとして日本語教育業界の多様な現場（多様な機関・多様な学習者）を知っていただくことを目的とした「キャリアパスフォーラム」があります。

第2弾として2月5日(土)に開催された「海外の日本語教育現場（アジア編）」は、昨年度実施の第1弾「日本語学校の現場編」に引き続きオンライン開催となりましたが、87名が参加し、そのうち71名(82%)が日本語教育学会非会員で、6割近くが大学の学部生もしくは高校生でした。今後日本語教育に関わっていかれる可能性の高い方々にお集まりいただけたのではないかと思います。

当日は、最初の「挨拶・趣旨説明」に続き、キャリアパスフォーラムの趣旨に賛同いただいた4つの協力機関の方々に登壇していただきました。ご登壇の皆様には、機関の概要、海外勤務の日本語教師の仕事内容やキャリア等について、各機関15分でご説明いただきました。その後、事前に寄せられた質問（海外の日本語教師に求められる語学力や資格、キャリアパスなど）にご回答いただきました。

休憩後、30分間の「車座タイム」では、協力機関ごとに4つのブレイクアウトルームに分かれ、各機関についての補足説明や参加者からの質問への回答をしていただきました。後半15分では参加者が各ルームを自由に行き来できるようにしました。

フォーラム終了後に実施したアンケートには、62名(回収率85%)から回答が寄せられました。62名(100%)が全体としての満足度を「大変満足」もしくは「満足」とするなど、好評が得られました。自由記述には、「自身のキャリアについてあらためて考えるきっかけになりました」「海外で日本語教師として働くことを、より鮮明にイメージでき、早く海外で働きたい！とわくわくさせていただきました」といったご感想や、「内容については大変満足ですが、時間がもう少しほしかったです」「アジア以外の日本語教育事情も気になりました」「日本語教師をされている方々のキャリアパスのバリエーションと深堀のある企画をしていただけますと嬉しいです」といった今後の企画への参考になる貴重なご意見がありました。いただいたご感想やご意見は、次回の「キャリアパスフォーラム」にぜひ活かしていきたいと考えております。協力機関のご登壇者様、参加してくださった皆様、ありがとうございました。(文責:平山)



チャレンジ支援委員会:大嶋智規・大平幸・高村めぐみ・平山允子・毛利貴美

問合先:公益社団法人日本語教育学会(チャレンジ支援委員会)

TEL:03-3262-4291(9~18時のみ) E-mail:challenge@nkg.or.jp



公益社団法人

日本語教育学会